

平成30年度第2回川崎町議会（6月定例会議）一般質問通告一覧表  
その1

議員名	件名	要旨
1 千葉 加代子	1. 高齢者対策について	①平均寿命と健康寿命の差を縮めるための施策は実施されていますか。 ②孤独死対策として、どのような取り組みを考えていますか。 ③「生きがい」を持って生活する高齢者を増やすために行政としてどうかかわっていきますか。
	2. 子どもの教育と生活環境について	①本町の性教育の現状と課題について ②不登校の子どもに対する働きかけは、どのように取り組んでいますか。 ③問題行動をおこす子どもへの指導は、どうされていますか。 ④「県青少年プラン」が策定されましたが、本町では、どのように取り組んでいきますか。 ⑤特別支援学校の高等部設置計画は、進んでいますか。
	3. SNEPについて	① 本町での実態は把握できていますか。 ②ひきこもりについての相談窓口は、ありますか。
2 谷口 武雄	1. 学校働き方改革に本腰（文科省、教育業務、役割分担を推進）	教育委員会や学校の取り組みについて ①タイムカードの活用などで教員の勤務時間管理を徹底する。 ②夏休みに一定期間の学校閉庁日を設定 ③部活動指導員や教員業務を補助する外部人材を積極的に参加させるとあります。 教育長の回答をお尋ねいたします。
	2. 人口減少対策	高齢化が急速に進み人口減少が進んでおります。 ①1つの窓口で全ての用事が済ませられる高齢者専用課の設置を ②出産育児奨励金 ③出生児1人について養育手当等を導入しては
3 松岡 久代	1. 小中学生の海外研修の動向は	子ども達から海外研修の声が聞えない。現在（いま）どうなっているのか尋ねる。
	2. 本物に触れる観劇の継続を問う	中学2年生に劇団四季のミュージカルを観劇させていましたが、継続は。
4 西山 賢俊	1. 国道322号バイパスの全線開通について問う	①国道322号バイパスの開通が田川地区住民の大きな願いだろーと思います。完成見通しを問う。 ②そのバイパスの川崎町の田原交差点は、右折レーンがない為に交通渋滞が甚だしい交差点です。右折レーンが出来ないのでしょうか。

平成30年度第2回川崎町議会（6月定例会議）一般質問通告一覧表  
その2

議員名	件名	要旨
5 手嶋 真由美	1. 子育て支援の充実について	①29年6月議会で就学援助制度の支給時期について質問をしましたが、その後の検討は。 ②中学校の制服などや小学校での学用品のリユースについて再度の検討をしていただけないか。
	2. 中小企業支援について	①町内の対象となる中小企業事業者に対してどのように情報提供をしましたか。 ②制度の活用の推進を図るべきだと考えますが。 ③ 今後はどのように、情報提供をしていきますか。
	3. 高齢者や障がい者用の住宅について	①町内に、高齢者や障がい者対応の町営住宅はいくつありますか。 ②現在、何軒くらい入居されていますか。 ③今後、作る予定は。
	4. 自転車を活用できる町づくりについて	①統合される中学校の通学手段として自転車は不可欠です。現在、自転車を利用されている住民の方も多く、自転車が安心して走れるように優先道路の確保が必要だと思いますが。 ②自転車利用者に自転車保険加入の努力義務が必要になります。周知や今後の対応は。
6 繁永 英樹	1. 統合中学校設立に向け進行と民意について問う（教育長）	未だに、進行中の計画とは別の案を信じている中で、より良いものができるように努めています。その進行に疑義を感じていますので、現状説明と改善を求める。
	2. 教育の充実という教育委員会のテーマについて問う（教育長）	21世紀型教育の導入は、川崎のみ教育長が否定的だからという教員と町民の声を聞きましたが、子どもたちに機会均等な教育機会を与えるよう、現代社会の発想ができないのでしょうか？ ICT教育、英会話、冷暖房完備、カリキュラム達成など
	3. 手の届きにくい子育て支援について問う（町長）	以前の教育委員会懇談会で内諾をいただいた救済的な食堂設立について、現状を伺う。 一般質問にて、前向きな答弁をいただいた病児病後児保育について現状を伺う。 川崎の義務教育の中で、どの部分がひっ迫していたり、手立てを要すると考えているかを問う。
7 寺田 響	1. 教育施策について	①現在コミュニティ・スクールを実施して、学校、地域、家庭が一体となって教育を進めているが、やはり教育の核は家庭にあると感じています。もっと家庭内教育（保護者の意識）を高めるための施策が必要と感じますが、教育長の考えを伺う。 ②現在、川崎町で学力の公表は各小中学校全体での平均値である。学校別に公表するべきであると感じるが、教育長の考えを伺う。

平成30年度第2回川崎町議会（6月定例会議）一般質問通告一覧表  
その3

議員名	件名	要旨
8 櫻井 英夫	1. 中学統合関連政策について (町長)	<p>①統合中学特別委員会で仮設校舎グレードアップの要望意見が出たり、工事受注業者から実際に見積書が出されていたようだが、執行部はどのような理由、経緯で見積書を徴したのか。予算審議の尊重並びに入札の公正性から設計変更、追加工事は唐突にすべきではない。見積書要求の背景と設計変更に関する考え方を問う。</p> <p>②池中、鷹中校舎利用は32年3月で終了する。池中は特別支援学校に、鷹中は史料館にと一定の方向性は出ているが、今の新捗状況はどうか。また、旧大峰小はどうするのか。</p> <p>③田川の中高一貫校開設が悲願となっている。市郡では中学統合が進み、一貫校開設環境は整いつつある。進捗状況はどうなっているか。</p>
	2. 外郭団体の育成と改廃について (町長)	<p>町100%出資の(株)De・愛は、その存在意義が薄れてしまっている。今後どう改善活用するのか。関係条例は存在しないまま。一度検討する必要があると考えるが、見解は。また、De・愛を除き100%税で運営されている外郭団体、それに準ずる団体にはどんな所があり、どんな指導体制が取られているか。</p>
	3. 過疎対策について (町長)	<p>過疎が止まるどころか進んでいる本町の現実がある。</p> <p>①32年度で過疎計画が満了する。計画事業の検証、見直しに基づくローリングが必要だが、これら事務事業に対応できているか。</p> <p>②外部から人が来なければ人口は増えない。観光は過疎対策の要。観光施設の充実と交通網、特にバスと鉄道の充実がポイントになる。民間輸送会社とどのように連携しているのか。</p> <p>③日田彦山線はどのように復旧させるのか。町としての工程表を示して頂きたい。</p>
	4. 青少年対策について (教育長)	<p>アンビシャス、学びっ子、部活外部指導員など住民が学校支援に参加している一方、子ども会は担い手不足で消滅しつつある。町主導で対青少年のイベントを創出し盛り上げていく必要がある。まず、どこで、だれが、どんな活動をしているか調査まとめが肝要。調査実績の有無と社会教育を強くするための方策はいかに。</p>